森林整備。兵庫県 佐用町 令和元年度

佐用町では、森林環境譲与税を活用して、

- ▶ 森林所有者の森林経営計画への参加を促進して、間伐施業地の拡大を図りました。
- ▶ 原木の集出荷施設「木材ステーションさよう」の設置により、住民による里山林等の森林整備を促進しました。
- ▶ 荒廃した広葉樹林の整備について事業性や採算性の確認、施業内容確立のために間伐を実施し、事業化に向けた実証実験を実施しました。
- ▶ 令和2年度に森林整備のためのビジョン策定に向け、基礎データとして活用するため、森林所有者へ意向調査を実施しました。
- ▶ 木材利用では、役場庁舎の改修にあわせて、内壁の木質化を行いました。

# □ 事業内容

#### 1 森林保全間伐促進事業

• 森林経営計画により間伐を実施した森林所有者に対して、間伐面積 1 haにつき 5 万円を補助しました。

【事業費】5.877千円(全額譲与税)

【実 績】131.46haの間伐が実施できました。

### 2 森林資源活用事業

• 未利用木材の利活用及び住民による森林整備の促進のために設置した原木集出 荷施設「木材ステーションさよう」を運営し、原木買取に1 t あたり3,000円の 地域商品券を上乗せしました。

【事業費】1,669千円(全額譲与税)

【実 績】 223 t の原木の出荷がありました。





(事業2:原木搬入の様子)



(事業1:間伐施業地)

## 基礎データ

①令和元年度譲与額	16,275千円
②私有林人工林面積(※1)	9,989.95ha
③林野率(※2)	81.0%
④人口 (※3)	17,510人
⑤林業就業者数(※4)	18人

※1:「森林資源現況調査(林野庁、H29.3.31現在)」より、

※2:「2015農林業センサス」より、※3, 4:「H27年国勢調査」より

### 3 広葉樹林整備モデル事業

• 荒廃した里山林の更新の実証実験として、私有林において強間伐(7割伐採)と原 木搬出を行いました。

【事 業 費】3,964千円(うち譲与税3,371千円)

【実 績】2.94haの間伐を実施し、人工や林業機械の稼働時間等が集計でき、 原木250 t を搬出しました。

### 4 森林所有者意向調査事業

• 次年度に予定する森林整備ビジョン策定の基礎資料とするため、森林所有者(森林 組合員)に対して将来の森林経営や管理の計画等について意向調査を実施しました。

【事業費】5.031千円(全額讓与稅)

【実 績】森林所有者(佐用郡森林組合員)約3.5千人を対象に実施し、回答率は 54%でした。この結果を踏まえて次年度においてビジョンを策定する 予定です。

### 5 木材利用促進事業

• 木材の利用促進のため、役場第二庁舎改修工事で新設した間仕切りの木質化(桧羽 目板張り)を実施しました。

【事業費】327千円(全額讓与稅)

【実 績】40㎡を木質化しました。





(事業4:木材利用)





(事業3:上>伐採前 下>伐採後)